



国際ロータリー第 2740 地区 長崎北東ロータリークラブ

2019~2020年
週報第3号
(通算2126号)
例会:令和元年7月17日

会長挨拶 草野 一夫

チョコレートについて



チョコレートの歴史はとても古く、チョコレートの原料のカカオは、古代マヤ文明や、アステカ文明の時点で既に栽培されていたそうです。つまりチョコレートの発祥の地は現在のメキシコあたりと言っても過言ではありません。そしてこのチョコレートを発見して、ヨーロッパへ持ち込んだのが、コロンブスだとされています。チョコレートと聞くと甘くて美味しいお菓子をイメージするかも知れませんが、当時は砂糖などで味が調整されていなかったため、とても苦いものでした。そのため現在のように嗜好品としてではなく、飲み物として、薬のように飲まれていました。その後、コロンブスが発見したチョコレートは「ヨーロッパ」から「アフリカ、アジア」へと普及して栽培されるようになりなした。それでは、日本人で最初にチョコレートを食べたのは誰だったのでしょうか？チョコレートが現在のような嗜好品として食べられるようになったのは、18世紀頃だったとされています。そして日本にチョコレートが入ってきたのも、江戸時代の中期の頃だとされています。日本人で最初にチョコレートを食べたのは、長崎県の丸山町、寄合町は当時は遊郭街として有名だったのですが、遊女が残した日誌に、「しょこらあと六つもらった」と残されていて遊郭で遊ぶ、オランダ人から遊女へ贈られていた事がわかります。いつの世も男性は、このようなプレゼントをして、女性の気を惹こうとしていたんですね。そこでチョコレートを1番食べている国はどこでしょう？1位はルーマニア人で1年間に15.4kg、2位はドイツ人で11.3kg、3位はイギリス人で10.9kgです。日本人はというと1年間に1人当たり平均2.1kgです。なんとショッキングな数字でしょう。因みに、ボンソアールでは、年間、1トン以上のチョコレートを使用しています。もちろん日本では、バレンタインデーという、大きなイベントがあるので、その期間は年間の2~3割を使用します。チョコレートには、心を落ち着かせたり、リラックスさせる効果もあります。皆さん！！頑張ってチョコレートを食べましょう！！！！

【幹事報告】



代行 井口 盛博

- 7月24日(水) 浦信夫ガバナー補佐とのクラブ協議会です。理事の方々は、発表のご準備を宜しくお願いいたします。
- 7月31日(水) 千葉憲哉ガバナー公式訪問です。出席率100%DAYです。ネクタイ着用をお願い致します。
- 8月21日(水) 納涼例会 寶来軒 18時30分～ 出席表の記入をお願いいたします。

今後の予定

- 7月24日(水) 浦信夫ガバナー補佐とのクラブ協議会
- 7月31日(水) ガバナー公式訪問
- 8月7日(水) イニシエーションスピーチ 石橋 文会友

ココロBOX



ココロ委員 中村 会友

草野: 本日はクラブ協議会の後半です。活動計画発表の皆様、よろしくお願ひいたします。7/12公共イメージセミナーに参加の皆様 おつかれ様でした。

岩永(信): 3連休前の平日14時30分に召集された草野会長、前田幹事、地区委員の鬼塚さん、事務局の尾野さん、マイロータリー・クラブセントラルセミナーのご出席、本当にお疲れ様でした。

辻村: 辻村様、本日は例会御参加有り難う御座います。ごゆっくりお過ごしください。

丸木: 地元長崎の演歌、歌手 桜井すずめさんの新曲「海があまりにも碧のです」が発売されました。この曲は、外海の遠藤周作さんの記念碑に刻まれた詩を用いて作詞されています。この曲は、長崎の世界文化遺産、隠れキリシタンと協会群のイメージソングにも使用されています。会友の皆様も是非一度お聞き下さい。CDは、税込1枚1,000円です。

小計: 4名/¥8,000

累計: 33名/¥77,000

委員会報告

地区公共イメージ委員 鬼塚洋一 皆さん、こんにちは。地区公共イメージ委員会より委員会報告をさせていただきます。7月12日(金)開催されました、マイロータリー・クラブ・セントラルセミナー参加



についての報告です。会場は諫早のL&Lホテルセンリユウ。当クラブより、草野会長・前田幹事・尾野事務局員が参加されました。14:30点鐘、16:30 岩永信昭バスターガバナーの講評を頂き、2時間のセミナーを終了しました。セミナーの内容は第1部:マイロータリーの登録。第2部:クラブ・セントラルの入力。2部構成で進行し、いずれもプロジェクターでの説明と同時進行で入力を実習するというパターンでした。参加された各クラブの方々も熱心に取り組んでおられました。当クラブにおいては、マイロータリー登録率 70.8%。クラブセントラルについては入力済みということで、草野会長以下、復習という感覚で確認をされておりました。セミナー終了後、進行を務められた久保公共イメージ委員長より、第2740地区マイロータリーの登録率は全国34地区中第7位という成績ですが、目標とする登録率 50%への努力と、クラブ・セントラル入力の共通した認識を理解してもらうため、セミナーを開催しました。との説明がありました。

公共イメージ部門



理事 中野雅和

本部門は設立3年目に入ります。ロータリー戦略計画の優先事項の中に「公共イメージと認知度の向上」があげられ、今、最も国際ロータリーとしても力を入れている分野です。我々が感じている以上に、社会のロータリーへの認知度は低いものがあります。ロータリーとは何か、ロータリアンとはどのような人か、ロータリーはどのような活動をしているのか、この3つの観点からロータリーを社会に知らしめるように活動を展開していかなければなりません。関連委員会の方々のご協力、ご支援を宜しくお願いします。



委員長 鬼塚洋一

クラブ会報委員会 本年度、クラブ会報委員長を務めます鬼塚洋一です。宜しくお願いいたします。デジタル通信技術の進歩に従い、現在は、PC・スマホ等での情報伝達が一般的となっております。毎週発行するクラブ会報の作成にデジタル技術は欠かせませんが紙媒体ゆえの、温かみのある会報となることを目標として作成します。[活動方針]・各委員が知りたい情報の提供・何を伝えたいのかを明確にする。事実の羅列、活動の紹介だけでなく面白いと思われる内容とする工夫をする。毎週発行する会報が、長崎北東ロータリークラブ活動の記録となることも含み、1年間頑張っ参ります。会友皆様のご支援、ご協力よろしくお祈いします。



委員長 高木潤

広報・雑誌・資料委員会 ロータリーの目的を踏まえ、地域のクラブや会員へ情報の伝達を行うとともに、ロータリアンでない方々へ、ロータリーとは「何をしているか」を伝えつつ、ロータリーの認知度を高め、そのイメージを向上させる事に努めたいと思います。その為、我がクラブのホームページや、メディア等を通し、奉仕プロジェクト活動報告などの拡充を図り、地域社会における長崎北東ロータリーの認知度を高める事を委員会として進めて参ります。

ロータリー財団部門



理事 西村 直洋

ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。ロータリー財団は、世界中の人々の生活に実質的な違いをもたらすプログラムにクラブが参加し、寄付する機会を与えます。ロータリー財団の活動へ参加することは、会員がクラブに対して魅力を感じ、退会を防ぐことにもつながります。ロータリアンが直接に財団プログラムを体験した場合、ロータリー財団へ寄付しようという意欲が生まれるものです。財団のプログラムは、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有している財団の友の自発的な寄付のみに支えられています。以上の主旨で当クラブとしては財団の友に入会していただき、1人100ドルの寄付をお願いします。(38人×100ドル=3,800ドル)全体で5,000ドルに達する為に1,200ドルを有志の方にお祈いしたいと計画していますのでよろしくお祈い致します。

奉仕プロジェクト部門



理事 丸木健誠

千葉憲哉ガバナーの思いを受け、地域ニーズの情報収集を図り、奉仕プロジェクト実施へ力を入れていきます。又 地区補助金(DDF)を活用し、新たな奉仕活動を立ち上げてまいります。この地区補助金に関しては、手続をしてから実施に移すまでに約2年かかるといわれています。奉仕プロジェクト部門の職業奉仕、社会奉仕、国際青少年交換、米山奨学会、青少年奉仕の各委員長と意見交換を重ねて、新しい奉仕活動が実施できるよう努力してまいります。



委員長 田中徳之

職業奉仕委員会 クラブ会員がそれぞれの職業において一般水準を上げ役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し実施するものと理解しております。職業奉仕活動に責任を持ちあらゆる委員会の仕事を会長幹事の指導のもと監督調整していきたいと思ひます。皆様のご協力宜しく御祈い致します。



委員長 森義彦

社会奉仕委員会 社会奉仕は、ロータリアン全てがその個人生活、事業生活及び社会生活に於いて、常に奉仕の理想を実践することを目標としています。クラブの所在地または行政区区域内に居住する人々の文化的生活環境を向上させる為には、我々ロータリアンは各種の活動を実践する必要があります。本年度は高齢者施設・介護老人ホーム「こころのしろ」の民謡慰問と行政の施設、長崎県高等技術専門校長与校と長崎県総合水産試験場の2か所見学を通して博識を深め、今後の活動に生かす事を予定しています。尚、3か年に渡って実施してきました寄席の会は前年度をもって終了としました。今までの会友皆様のご協力有難うございました。今年度の計画は座学的な事業が多くなりましたが、会友の皆さんの参加を宜しくお願いします。



委員長 上田純一

国際青少年交換委員会 2004年度以降、国際青少年交換の実行はありません。今年度は次年度も考慮し、積極的な行動を行います。他クラブの活動を参考とし、実現に向け取り組んで行きます。各会員の御協力をお願いします。



委員長 岩永信昭

米山記念奨学委員会 次年度は日本ロータリー100周年、1905年に誕生したロータリーが日本に入ってきて東京ロータリークラブができて100年になります。米山記念奨学事業は、わが国が世界に誇る素晴らしいプログラムです。当クラブも優秀な生徒を数多く御世話してきました。今では地区にOB、OG会である校友会もあり、卒業してもクラブとのつながりを保つよう奨励されています。事業の基礎となる奨学会への寄付も例年通り皆様にお祈いしたいと考えています。



委員長 井口盛博

青少年奉仕委員会 ロータリーの基本理念での青少年奉仕は、「ローターアクト」「インターアクト」「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)」「ロータリー青少年交換」などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援する事です。それに伴い次の事項の後援を行いたいと思ひます。①時津町少年ソフトボール大会主催 ②時津町少年剣道大会後援 ③時津町中学校ペーロン大会助成等 ④高校生3地区ラグビー大会主催 ⑤中学生サッカー大会主催 ⑥障害者スポーツポッチャ大会主催

司 会 / 榎屋 健
写真撮影 / 高木 潤

創立 / 昭和49年4月30日
承認 / 昭和49年5月22日
例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 / 長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局 / 長崎市目覚町8-11-301
TEL 843-6635 / FAX 845-9411
URL <http://nerotary.org/>

本日のメニュー



	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up		修正出席率	出席率
					免除者		
7月3日	41	32	7	0		82.1	
7月17日	41	29	9		3		76.3

月間出席率		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		本年度	76.8	79	77.7	79.8	71.7	71.7	79.7	75.1	73.6	78.2	74.4
前年度	79.9	84.9	80.3	78.6	82.5	73.8	78	79.5	77.9	80.5	80	82	